



朗読ボランティア 「雪うさぎの会」を 知っていますか

高橋さんにお話を聞きました



朗読ボランティア
「雪うさぎの会」代表
高橋 典子さん

朗読ボランティア「雪うさぎの会」 について教えてください

今から30年前、おひとりの組合員さんが、ご自分で「商品案内」を読み上げたカセットテープを、4、5人の視覚障がいのある方に渡していました。それを知った当時の職員が広報で紹介し、ボランティアを募集したのが会の始まりです。

「雪うさぎの会」の名前は、会の立ち上げ時に愛称を考えようとメンバーが相談し、季節がちょうど冬で可愛いから決めたと聞いています。

現在、朗読ボランティア「雪うさぎの会」は、9人で活動しています。2カ月に1回担当がまわってきます。コープデリにいがたの事務局から、「こーぶる」や「コープデリにいがた通信」が、担当に郵

送で届きます。各自、自宅で録音を行っています。この活動は自分の都合に合わせてできませんし、できない時は、前もって事務局に伝えておくとのメンバーが代わってきます。

1回活動の流れを教えてください

郵送で広報誌が届いたら、まずひと通り、読み方や文章を確認します。次に、読むための原稿を作成します。1度下読みをし、つまずくところなどをチェックしてからボイスレコーダーなどに録音していきます。録音したデータは、1週間以内に事務局へ届くように郵送します。



▲毎月1回発行の広報誌の録音を担当しています

広報誌のページを読む順番は？

基本的には上から順番に読んでいきます。文字の大きさ、イラストなどは、目に訴えているものがありますので、書き手の意図を考えながら読むようにしています。聞く方によって感じ方が違うことも理解しながら読むことを大切にしています。

写真コメントや、イラストなどの説明はどうしていますか？

「かわい」や、「おいしそう」などの形容詞は使いません。聞いて分かりますように、組み立てて読んでいきます。また、本文の文章と混ざらないように、写真やイラストは、はじまりに「写真の説明」、終わりは「写真終わり」などを伝えるようにしています。



「写真の説明」ハンバーグがお皿の上に乗っています。横にはボテとプロックカラーが添えています。
「写真終わり」

特に気を付けていることは？

書いてあることを正確に伝えることが大事なので、文章は足すことも引くこともしないように気を付けています。また、話し方ではできるだけ感情が入らないようにしています。専門用語は聞いただけではイメージできないものもあるので、説明を加えたりします。固有名詞や地名、人の名前の読み方は間違えないように調べたり、事務局に問い合わせたりして確認しています。

どんな声が朗読に向いていますか？

声と耳の相性は、人によってさまざまです。聞き取りやすいのは大切ですが、いろんな声の方がいいほうが楽しいですよ。低い声の方がよいという利用者さんもいますし、高い声の方がよい方もいます。私たちメンバーも、だんだんとベテランとなってきたので、若い方も参加していただけるとうれしいですね。

「声の商品案内」のCDが届くまで



編集委員がCDをデジター図書再生機で聞いてみました

- 読み上げの速度が変えられて、自分のペースに合わせられる
- 人によって読み方が違うけれど、それぞれの味があっていいと思った
- 項目ごとに探せて便利！聞きたいところが探しやすく短縮になる
- 「こーぶる」のページを聞いてみたら、写真やイラストの説明も的確で分かりやすかった。意味もよく分かったし、とても聞きやすかった
- スラスラと読まれていてすごい！コープデリにいがたには、こんな活動があるんだね♡

令和6年10月17日(木) 交流会を開催しました！

コープデリにいがた流通センターにて、「雪うさぎの会」のメンバーと事務局・理事が集い交流会を行いました。この日はメンバー7人が参加。普段は個人作業を行っていた方の確認や疑問に思っていることなどを、高橋さんや他のメンバーに質問し、アドバイスを受けながら、みんなで共有しました。読むための決まり事などが記載されている「リーディングの手引き」の最新版が作成され、メンバーで確認もしました。

その後は、楽しい交流タイム。それぞれの近況や日常の楽しいお話を盛り上げました。



▲当日参加した「雪うさぎの会」のメンバー

お問い合わせ
コープデリにいがた 総合企画室
TEL 025-260-3351
(月～金 9:00～17:30)